

和歌山東南国際ロータリー第2640地区 ロータリークラブ

2004~2005



週報

2004~2005 会長:中村美之 / 副会長:八塚啓司 / 幹事:神谷尚孝 / SAA:郷間博敏
 〒640-8227 和歌山市西丁丁26 経済センター7階 TEL.073-423-3666 FAX.073-423-7200
 E-mail:a-rotary@coral.cypress.ne.jp http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary/rotary.html
 例会日時:第1・2水曜日(18:30) / 第3・4・5水曜日(12:30) 例会場:『華月殿』(和歌山市屋形町2-10)
 2004~2005年度RIテーマ ~ロータリーを祝おう~
 RI会長:グレン E. エステス シニア 2640地区ガバナー:中島治一郎(泉大津RC)

本日(9月1日通算1644回目 本年度8回目)の例会

外部卓話

「護身術」 ~身近な小物で身を守る~

藤戸 優治(ふじと ゆうじ) 様

S35伊都郡高野町生まれ。和歌山北高校柔道部、明治大学柔道部を経て現在和歌山県警勤務。
 自身考案した護身法を県内各地で講演・指導。特に教師・保育士等に好評。
 また勲和歌山県柔道連盟事務局長として、柔道の普及に努められています。

本日のソング

君が代・我等和歌山東南ロータリー

クラブ会報委員会

委員長:井畑順三 副委員長:鯨 拓也
 委員:竹中昭美 栗原 登

先週(8月25日通算1643回目 本年度7回目)の例会報告

郷間SAA

出席報告 【会員数】 44名(内出席免除会員6名・名誉会員1名)

出席率をアップさせよう

◇前回(8月25日)24名(63.16%) ◆メイクアップ後(8月4日)34名(89.47%)

出席委員長 駒阪純章

来訪者紹介

ゲスト / 和歌山東RC ガバナー補佐:村田昌之様

親睦委員 津川 善昭

会長報告

中村美之会長

今日は、今日は、少し気温が低めに感じられますが、台風16号が週末に本土上陸があるかも分かりません。

本日、ゲストはガバナー補佐村田昌之様がおいで頂いています、卓話を宜しくお願ひします。

神谷幹事が体調崩して欠席ですが例会終了後予定通り行いますので宜しくお願ひ致します。

▼ロータリー年度100年の変遷

- ・大正5年(1916)88年前
第一次世界大戦激化。チャップリンが人気。寺内首相。
- ・大正6年(1917)87年前
第一次世界大戦にアメリカ参戦。主婦之友創刊。
コロツケの唄が流行。浅草オペラ。
- ・大正7年(1918)86年前
第一次世界大戦終結。日本軍シベリア出兵開始。原敬首相。

- ・大正8年(1919)85年前
スペイン風邪世界的大流行。東京で自動車運行始まる。
- ・大正9年(1920)84年前
米山梅吉氏東京RC創立初代会長になる。
米国で世界初のラジオ定時放送開始。戦後恐慌始まる。
大阪・東京の株式取引所休業。株価大暴落。銀行の取付け。
休業・合併続出。米国で禁酒法スタート。米で女性参政権獲得。日本初メーデー。婦人運動盛んに。「叱られて」

◆今日は何の日

- ・昭和16年(1931)8月25日、73年前。
東京飛行場(後の羽田空港)が開港する。大連行きの一
番機にスズムシとマツムシ6千匹を乗せて出発する。
- ・昭和33(1959)8月25日、45年前。
日清食品の即席ラーメンを発売する世界初お湯を
かけて3分で出来上がり。

幹事報告

和田達男 副幹事

- ①本日例会終了後、理事会を開催します。
- ②クラブ米山委員長会議が、8月21日(土)テクスピア大阪で開催されて、神谷が代理出席してきました。
- ③8月27日(金) 中島ガバナーの市長・知事表敬訪問。
- ④台北東南RC会長蔣銘さんより、許哲誠君ピアノリサイタルの件で感謝のFAXが届きました。(回覧)

- ⑤ロータリー米山記念奨学会より、特別寄付金の累計額が15,076,962円になり15回目の「米山功労クラブ」の表彰状を贈呈するとの案内が届きました。
- ⑥クラブ財団委員長会議と財団奨学生帰国報告会
9月18日(土)13:00~ 和歌山JAビル
- ⑦クラブ青少年交歓委員長会議
9月19日(日)13:30~ テクスピア大阪

ニコニコ箱

奥村智子 会計

ゲスト:村田昌之様(和歌山東RC)

◆本日宜しくお願ひします。

中村君◆ガバナー補佐 村田昌之様、本日は宜しくお願ひ致します。

稲葉君◆村田ガバナー補佐、御苦勞様です。

市川君◆久しぶりのホームクラブ出席です。

土井君◆村田様、本日御苦勞様です。

配偶者誕生日御祝 ●有本君。

結婚記念日御祝 ♥安村君。

合計27,000円(累計542,000円)

米山記念奨学金

土屋一博 委員長

土屋君▲津川さん、先日の「ぶんだら」ではお世話になりました。

(累計215,000円)

ロータリー財団

松浦 薫 委員長

和田君▲先週に続き、2週 幹事代理をさせていただきます。

奥村(智)君▲村田様、本日よろしくお願ひします。

合計8,000円(累計57,000円)

南君★釜中委員長様、頑張ってください。

有本君★今年の夏も無事終わりました。

合計20,000円(累計183,000円)

来週(9月8日18:30)の例会

クラブフォーラム

新世代委員会

8月は会員増強と拡大月間です。

2004年～05年度エステスRI会長は「Celebrate Rotaryロータリーを祝おう」というメッセージの中で「ロータリーの過去の成果をたたえるということは、より優れた将来の奉仕活動の実践につながります。私は健康問題・水管理・識字率向上それにロータリー家族という今年度4つの強調事項を各クラブにお願いしたいと思います。これら一つ一つは宇宙船地球号の幸福の為には緊急の問題であり、それと同時にロータリーの奉仕活動は多くの可能性を提供します」

続いて「会員の退会防止活動を支援するロータリー家族委員会を継続し、熱意にあふれた新会員を入会させ、新たなエネルギーをクラブに吹き込み、クラブ・プロジェクトに会員を巻き込み、クラブ内に気配りと思いやりのある環境を推進しましょう」といっています。これはロータリー家族委員会が会員増強退会防止に大変重要で大きな影響があることを指示していると思います。本年度の中島ガバナーのメッセージや話されたことを咀嚼してみると、自らのクラブを活性化させ発展させることが会員増強につながる一番の道であり、会員一人一人が成功する奉仕プロジェクトを実施し、地域社会に密着しPRして、クラブの親睦を図り、ロータリー財団や米山記念奨学会を支援していけば、自ずと活性化して魅力的で効果的なクラブが構築され、ここから新しい同士の会員が誕生します。本年度は各クラブ何人増強して欲しいとはいえません。クラブ活性化こそが会員増強につながる道だと言っています。

世界の会員数は1,189,264人(2003.7.1)から1,219,532人(2004.6.30)と30,268人(2.55%)増えています。日本は逆に2002～3年度1年間で5,862人減少し、2003～4年度も2,482人(2.36%)減少しています。

2640地区では、03～4年度の減少は152人で02～3年度の192人より少なく、数字の上からは退会に歯止めがかかったように思われます。しかしこれまでの減少数を回復するには相当の年月と努力が必要です。

少しロータリーの歴史を振り返りますと、初期のロータリーには統計委員会というのがあって、会員間の原価での取引を記録していたそうです。この事は会員の相互扶助を示すものです。もう一つは会員の親睦でこの二つがロータリーの中心で、綱領もこれを示す2ヶ条でした。2代目の会長アルホワイトが友人ドナルドカーターに入会を勧めたところ、この二つだけでは社会的な意義に欠けていて将来性がないと断ったそうです。そこでこのことをクラブに伝えたと、第3条として「シカゴ市の利益を推進し、その市民の中に市に対する誇りと忠誠の精神を普及すること」というのが加えられ、ここに初めて漠然とした社会的な目的を自覚するようになりました。しかし、クラブの中では親睦だけでよいと言う会員もあり、親睦派と奉仕派の対立というものがあったようです。

1911年第2回の全米ロータリー連合会でアーサー・F.シエルドンの「最もよく奉仕するものは最も多く報いられる」ミネアポリスRC初代会長フランク・B.ユリンスの「超我的奉仕」というロータリーの2大標語が生まれてきていますので、親睦派よりも奉仕派の力の方が大きくなってきたのではないかと思います。(1917年にメルビルジョーンズが別の奉仕を目指してライオンズクラブを作る)そして1923年のセントルイス大会に奉仕のあり方についてテネシー州、ナッシュビルRCが提案した決議第34号いわゆる社会奉仕についての決議23-34に至るわけです。そして綱領も4項目になり(多いときには6項目)、1935年に4項目に整備され、1951年アトランティックシティ大会で今日のものと同じになり、綱領に示されたロータリーの「奉仕の理想」というものが確率しました。会員増強の意義はロータリーの綱領に示された「奉仕の理想」を具体的に推進

していく為には一人でも多くの同志が必要であり、ここに会員増強が欠かす事の出来ないものとなります。

奉仕活動を推進していく基盤となるクラブは世界で3,100を超えますが、統計によりますと毎年10%以上の会員が退会しています。もし会員増強しなければ10年でクラブは消滅してしまいます。申し上げるまでもなく、これらが会員増強の基本であります。ロータリアンは「ロータリーに入会した時点から会員増強の義務を負わされている」という事を申し上げます。

まずクラブ定款第14条綱領の受諾と定款細則の遵守であります。そして定款第4条による綱領があります。その第1が「奉仕の機会として知り合いを広めること」。この意味は、奉仕の理想を達成する、ロータリーの目的に向かって手を携えて歩む事の出来る同士を一人でも多く作り、会員増強とクラブ拡大をいつも念頭に置いて行動すべき事を示唆しています。しかしながら統計によりますと70%の会員が新会員を推薦した事がないと言われています。言い古された言葉ですが「誰かが貴方にロータリーを分かち与えてくれました。今度は貴方が他の人にロータリーを分かち与える番です。」この事を常に頭に置いておく事は私達の義務であると思います。これに先程申し上げました決議23-34です。この社会奉仕に関する決議の原則の第4項には「奉仕するものは行動しなければならぬ。従ってロータリーは単なる心構のことをいうのではなく、又ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければならない」そしてロータリアン個人も、ロータリークラブも奉仕の理想論を実践に移さなければならないと示されています。ロータリーの目指すところは貧困や飢餓のない住みよい社会、紛争のない平和な世界であります。現実の社会は世界の人口の20%が非常に貧しい生活をし毎年2,000万人近い人々が慢性的な飢餓で亡くなり、ユニセフの調査によりますと1億人以上の子供達がホームレスで貧しいストリートチルドレンであると言われていす。そして世界の各地で紛争の種は尽きる事はありません。

ロータリーが全てを解決出来るとは申しませんが、世界には私達が手を差し伸べて上げなければならない人々、又それを待っている人々が大勢いるという事は申し上げるまでもない事です。又見方を変えますとロータリーは世界166ヶ国とその地域で3,100もの営業所を持ち年間10億ドルを超える人道的奉仕を行っているなくてはならない団体です。今後共に強力に推進していく為には一人でも多くの同志が必要であり、会員増強は欠く事のできないものである事は明白であります。

増強、増強と言いますとすぐに質が量とが、この不景気にとが言う意見がありますが、出来る出来ないは結果論であり増強拡大は、私達の大きな義務ですから、皆さん一人一人がいつも意識している事が大切であると思います。増強にとって一番の強敵は会員の無感心であると言われていす。

どうぞロータリーの為、クラブの為、そして会長さんをはじめ会員増強委員長さんの為にも一段のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

